

# 総務文教常任委員会記録

【所管事務調査】

令和3年3月18日

【開催日】 令和3年3月18日（木）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前11時～午前11時18分

【出席委員】

委員長	河野 朋子	副委員長	伊場 勇
委員	奥 良 秀	委員	笹木 慶之
委員	中岡 英二	委員	長谷川 知司
委員	山田 伸幸		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

副議長	矢田 松夫	傍聴議員	杉本 保喜
-----	-------	------	-------

【執行部出席者】

教育長	長谷川 裕	教育部長	岡原 一恵
教育部次長兼教育総務課長	吉岡 忠司	学校給食センター所長	山本 修一
学校給食センター主査兼管理係長	和田 英樹		

【事務局出席者】

事務局長	尾山 邦彦	議事係長	中村 潤之介
------	-------	------	--------

【審査内容】

1 コロナ禍における食材廃棄の今後の対応について

【会議の概要】

1 コロナ禍における食材廃棄の今後の対応について

《山本学校給食センター所長から概要説明》

- ・資料の1「臨時休校により処分した学校給食用食材について」の説明。4月期は青果物、鳥肉及び豆腐について、それぞれの購入量、金額、処分日及び処分量の詳細、8月21日と26日は、いずれもパンの購入で、処分日、処分量の詳細であった。
- ・資料の2「有効活用の照会先」の説明。給食センターに納入された青果物に

ついてで、給食センターで食材の有効活用を検討した内容であった。まず市の各担当課に対して、福祉施設、保育園、市民団体に有効活用していただけないかどうか、農林水産課に対して、市場で販売できないかどうか照会した。NPO法人こどもステーション山口にも照会したが、子ども食堂等がその時期に活動していなかったため、配布先が限られてしまうということであった。次いで、山陽小野田市社会福祉協議会に、生活困窮者の方に御提供できないか照会したが、青果物は生物であり取扱いが難しいため、配りづらいとの回答であった。これら理由により、有効活用には至らなかった。買い取った食材は、給食センターの調理員の研修として、新たな献立を検討するために使用した。

### 【主な質疑】

長谷川知司委員 今後の有効活用についての説明がなかったが、どうするのか。

山本学校給食センター所長 この廃棄の後に、教育委員会でも協議した。まずは販売を行いたいと考えている。販売方法としては、ドライブスルー方式などがあると思う。それでも対応できない場合や有効活用できない場合は、寄附することも考えている。

長谷川知司委員 販売は値段をどうするかが難しいのではないか。優先順位を付けて、施設などとの連絡網により無償配布してはどうか。

河野朋子委員長 給食センターにおいて、もうこれだけの時間が経過しているので、手法を練られて、対応マニュアルのようなものが作られているかを聞いていると思うが、今後作るのか。

山本学校給食センター所長 対応マニュアルの作成には至っていない。急な対応でなかなか対応できなかったが、次に起こったときに、物資を無駄せず、事がスムーズに進むように、販売や寄附などの手法を考えたい。

山田伸幸委員 給食センターが事前に食材ごとにパックして、ドライブスルー方式でお渡しする手法も検討されたい。また、市民病院など大きい施設には食材の冷蔵庫等もあるはずだが、照会したのか。

山本学校給食センター所長 していない。

河野朋子委員長 今回、本当に初めてのことであったため、いろいろあったのは

分かるし、食品ロスを生んでしまったのもしよがないと思うが、マニュアルを作っておかないと、また同じことの繰り返しにならないか。

岡原教育部長 買い取った食材をどう有効活用していくのが一番いいのか、まだはっきりとした回答を持っていない。まずは販売、譲渡、そしてどこへ声を掛けていくのかという順番のようなものも決めておいたほうがいいと考える。教育委員会の中で協議して決めていきたいと思う。

奥良秀委員 コロナ禍において、ものを渡す行為自体がどうなのか。保健所等々に確認しているか。

岡原教育部長 市民の皆さんに不要不急の外出を避けてくださいとお願いしている状況で、人を集めることが果たして大丈夫なのかも非常に考えた。結局、販売には至らなかったが、今後、どういった手法を取ればいいのかは、保健所等とも相談していきたい。

伊場勇副委員長 資料に掲載されている食材は、全て給食センターに1回納入されたものか。

山本学校給食センター所長 納入されたものは青果物のみである。

伊場勇副委員長 納入されていないものは、業者に対して、処理をどのようにお願いしたのか。

山本学校給食センター所長 対応は、各受入先をお願いした。保存の利かないもの、ほかに使用できないものは買い取った。

山田伸幸委員 パンと牛乳はどうしたのか。

山本学校給食センター所長 パンも対応できなかった。今後は、前日の夜に分かった場合は、パン業者の代表者に連絡して、キャンセルできるようにした。牛乳は対応できた。

河野朋子委員長 今後が大事である。今後、早急に具体的な対策をきちんと作り、何かあったときに対応できるように、しっかりと準備していただくようお願いしておく。

令和3年（2021年）3月18日

総務文教常任委員長 河野朋子